

自然の宝庫に触れてみませんか

人々のふれあい、自然保護の役割を持つ「水の公園」福島潟。
220種類以上の野鳥や800種類以上の植物が集まるエリアです。
四季によって表情を変える美しい風景は、市民の憩いの場にもなっています。

2025
新春号

CONTENTS

■特集

02 市町村紹介コーナー 新潟市北区

04 発注者支援事業紹介

■センターINDEX

05 試験部からお知らせ

ラインマーカーキャリブレーションについて

06 令和6年度研究助成事業活動のご紹介

うおぬまレトロ化計画 長岡工業高等専門学校 Be-Mice

07 雪のことはば・雪のころ

08 編集後記

新潟の道の駅巡り 道の駅 豊栄

全国第一号の道の駅



新潟県 建設技術

センターだより

市町村紹介コーナー

新潟市北区

[下越エリア]



一般財団法人

新潟県建設技術センター

<https://www.niigata-ctc.or.jp/>

〒950-1101 新潟市西区山田2522-18

TEL.025-267-4804 FAX.025-267-4854

水の公園 福島潟

今までに220種類以上の野鳥、800種類以上の植物が確認されている自然の宝庫、福島潟。周辺には水の駅「ビュー福島潟」や温水プール「遊水館」などの遊び場があります。



福島潟^{かんげいび}「雁迎灯」

新潟市北区

Niigata Kitaku

新潟市北区のプロフィール

面積／107.61km²(令和6年7月1日現在 国土地理院公表)
人口／70,200人(令和6年11月末現在 住民基本台帳人口)
世帯数／30,119世帯(同上)
<https://www.city.niigata.lg.jp/kita/>

人の営みと自然が融合した活力あふれるエリア

福島潟や阿賀野川などを中心に緑が広がる北区。特に福島潟は野鳥の生息地として全国的に有名です。農業・漁業が盛んで、農水産物が並ぶ葛塚市や松浜市が開かれています。また、本州日本海側を代表する国際拠点港湾・新潟東港を有しています。中国・韓国を結ぶコンテナ船などがあり、物流拠点機能の整備が進められています。

Topics! /

JRA新潟競馬場

日本海側唯一の、JRAの競馬場。日本唯一の直線1,000m芝コース、及び日本最長となる2,223mの芝コースが設置されている本格的な競馬場です。



みどころ



阿賀野川ござれや花火

阿賀野川両岸に約20万人の観衆を集め、空一面を覆う大迫力な2尺玉花火やスターメイン、地域の小学生がデザインをした企画花火など好評を博し、県内外の多くの観客から親しまれる、新潟市の一大イベント。



葛塚まつり

毎年9月6日から9月8日にかけて、旧豊栄市街地を舞台に開催される葛塚まつりは約260年の歴史がある地域の伝統あるお祭りです。最大の見どころは、9月8日夜の灯籠入舞(灯籠押し合い)で大迫力の灯籠のぶつかり合いを見ることができ、県内外から多数の見物客が集まります。

特産物



大玉系トマト

県内一の出荷量を誇る北区。北区のトマトは濃厚で甘く5月～6月に旬を迎えます。



しるきーも(サツマイモ)

水はけのよい砂丘地で栽培されるしるきーもは、なめらかな舌ざわりと上品な甘さが特徴。

発注者支援事業紹介



一級河川大通川流域治水一級(大特)築堤(その2) 工事

工事概要

一級河川大通川は、福島潟の河川改修(築堤や水門等整備)に合わせて排水区間(福島潟合流点から1.8km)の改修を完成させ、さらに上流部の改修を行う計画となっております。

本工事は、福島潟合流点から延長211mの左岸側において、地盤改良、築堤盛土及び排水樋管(□1000×1000)を築造する工事です。

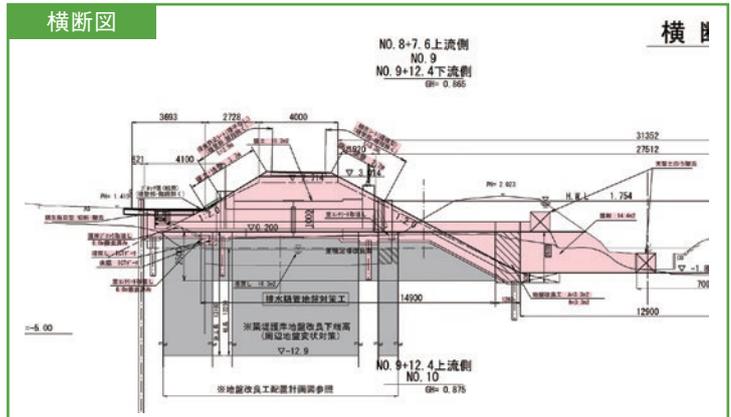
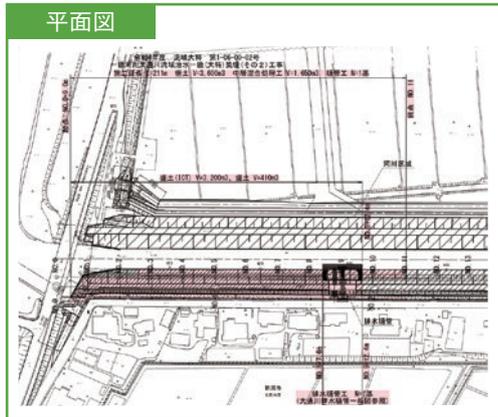
工事内容

工事名 / 令和4年度 流域大特 第1-06-00-02号
一級河川大通川流域治水一級(大特)築堤(その2) 工事

工期 / 令和5年1月~令和6年3月

発注者 / 新潟県新潟地域振興局 地域整備部

工事内容 / 施工延長 L=211.0m
築堤盛土 V=3,600m³(ICT V=3,200m³)
中層混合処理工 V=1,650m³
排水樋管工(□1000×1000) N=1基



管理技術者 から一言

管理技術者 小坂 光平

新潟県では生産性向上等の観点からICT活用工事の普及促進を行っています。本工事においても、土工をICT建設機械で施工しました。当現場のICT建設機械による施工を行うことで必要となる、機械の精度確認や試験施工内容を発注者・施工業者と打合せを行い施工にあたりました。また、排水樋管の築造では、重要構造物となることから「新潟県コンクリート品質確保ガイドライン(案)」に基づき、施工の基本事項を遵守し品質確保に努めました。今後も良質な社会资本整備に貢献できるよう業務に取り組んでいきます。

試験部からお知らせ

ラインマーカーキャリブレーション性能審査制度の「審査機関」として、ラインマーカー車の性能を審査しています。

ラインマーカーキャリブレーション性能審査とは

「新潟県土木工事標準仕様書」を適用する道路区画線等の工事に使用するラインマーカー車の性能確認の省力化を目的として実施しています。

○性能審査を申請した書類に基づきラインマーカー車の性能審査を実施

・センター職員が立会して実施

新潟県が審査基準に適合した車両を承認

性能審査は原則として、年度に1回実施

主な審査項目

- ① 同一圧力での30秒間における塗料及びガラスビーズの吐出量変動の測定
- ② 規定量吐出に必要な圧力(空気圧又は油圧)
- ③ 施工機械の進行速度(ラインマーカー車の進行速度)



令和7年度 承認申請車両数

性能審査実施車両 : 31台(令和6年12月1日現在)

ラインマーカー車

道路を安全に走行するための交通安全施設の一部として区画線があり、この区画線を施工する車両となります。



令和6年度 研究助成事業 活動のご紹介

レトロがふるさと魚沼を救う! うおぬまレトロ化計画 レトロによる大湯温泉賑わい再生事業



スタッフユニフォーム(Tシャツ)を製作



新規2号店「昭和の社交場すずらん」を開店



レトロをコンセプトとした店舗オープンイベントの様子



懐かしいゲームやレコード等を楽しめる

団体名:うおぬまレトロ化計画

「うおぬまレトロ化計画」はレトロコレクションを活用して地域の活性化に取り組んでいる住民団体です。魚沼市大湯温泉のすずらん通りは、一昔前は飲食店が軒を連ね、観光客が行き交う賑わいがありましたが、現在では飲食店は全て廃業し寂れてしまいました。この状況を打開しようと、うおぬまレトロ化計画では昨年に「魚沼レトロ商店」、今年は新規2号店「昭和の社交場すずらん」と懐かしいゲームやレコード等を楽しめる2店舗を期間限定で設置しました。レトロな風情を求める観光客が多数訪れ、賑わいを呼び戻しています。

市民向け建設業体験イベント「はしおし」の実施

「はしおし」は「橋を推して橋を愛す」というキーワードを掲げて、一般の方に建設業界を知ってもらう、興味を持ってもらうために行っている体験型のイベントです。この活動は長岡工業高等専門学校の学生が企画運営を行っており、学科・学年・性別問わず約50名の学生が土木・建設に関連した様々なブースを作っています。

この活動は今年で3年目となりますが、今年度はイベントの開催を月1回のペースで新潟県内の様々な施設・会場で行っており、体験者数のがべ3000人を突破しました。

また、参加している学生にも建設業界に興味を持ってもらい今後も活動が継続できるようにしていきたいと思えます。

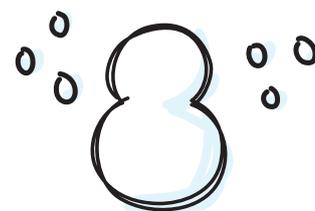
団体名:長岡工業高等専門学校 Be-Mice



当センターは、地域社会の活性化や安全・安心の向上、社会資本の整備・維持管理、建設技術に関する課題解決を目的として、さまざまな活動や調査研究に関する取組に対して「新潟県地域活性化に関する研究助成」を通して支援しています。

令和6年度には、8件の活動と調査研究を助成事業として支援しています。

雪のことは・雪のころ



大雪に備える

国立研究開発法人防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター 上石 勲

この記事を書いているのは2024年11月25日で、新潟県では一部で初雪が記録されていますが、平野部ではまだ積雪とはなっていません。

気象庁の2024年11月19日発表では、東日本の日本海側の予測は次のようになっています。

向こう3か月の降雪量は、北・東・西日本日本海側では冬型の気圧配置が強まる時期があるため、平年並か多いでしょう。

12月:東日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。

1月:東日本日本海側では、冬型の気圧配置が強まる時期があるため、平年に比べ曇りや雪または雨の日が多いでしょう。

2月:東日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。

この号が出るころには、大雪となっている可能性もあります。大雪への備えがさまざまな雪害を防ぐには重要です。

最近の雪にはつぎのような特徴があります。

- ・冬型の気圧配置で冷たい季節風が吹くと、海水温が高く大量の水蒸気が蒸発するため大雪となる。現在日本海の水温は平年より高くなっており、12月、1月初旬でも大雪の恐れがある。時期的に早いので大雪に対応する準備ができていないため、交通障害や雪処理中の事故などの影響が出やすい。

- ・比較的気温の高い状態で雪が降るため、雪が水分を含んで湿っており、着雪や冠雪が発生しやすく、倒木、倒竹による架線の切断による停電や通信障害も発生しやすい。

- ・大雪の後に大量の雨が降ると、スポンジ状のような新雪に大量の水が含まれ、積雪が重たくなることがある。

- ・低温下での降雪となる場合もあり、吹雪や凍結による障害も発生する。

特に最近では時間的、位置的に集中して降ることが

多くなっており、雪害も多様性に富んでいると言えます。

ひとつ前の号では能登半島地震被災地の状況と雪への懸念を記載しましたが、その後9月末に能登地方は大雨災害にも見舞われ、地震と水害によって地域の方もかなり疲弊されています。地震と水害によって斜面災害はさらに広がり、雪崩や融雪災害の危険性も増大しています。未だ復旧できていない道路や歩道、建物が多く、除雪に支障が出る可能性も高くなっています。ブルーシートを敷設してある屋根も多く、落雪による危険性も高くなっています。

これらの雪による障害を防ぐには、つぎのようなことが必要です。

- ・雪崩や土砂災害、落雪、建物崩壊などの恐れのある危険な箇所には近づかない。

- ・気象庁やその他の機関から情報を収集して対策を検討しておく。

- ・道路の長期通行止めに備えて、スコップ、防寒着、水・食料の用意をしておき、早めの給油、携帯電話への充電も心がける。

- ・停電に備えて、上記のほか、カセットコンロなども役立つ。

- ・移動には時間的な余裕を持ち、「急」のつく自動車操作をしない。

渋滞等を防ぎ、効率的に除雪を進めるには、地域の交通量を減らすことも有効です。大雪時は無理に外出せず、テレワークなどを推奨するなど計画的に企業活動をコントロールする「雪のBCP」も有効です。

新潟市では、以上のような大雪の際の心得や情報の入手方法などを記載した「にいがた雪の日辞典」を作成し、全戸配布しています。新潟市以外の方にも役に立つことが多く掲載されていますので、一読することをお勧めします。

新潟の道の駅巡り

vol.03

道の駅 豊栄

道の駅豊栄は、新潟市北区(旧豊栄市)に1988年11月10日に「豊栄パーキングエリア」(全国で初めての一般国道のパーキングエリア)としてオープンしました。

また、1993年4月22日に「道の駅豊栄」として道の駅第1回登録時に他の103駅と一緒に登録されました。

当施設は一般国道7号新新バイパスの豊栄インターチェンジと東港インターチェンジ間にあり、自動車や大型トラックなど多くのドライバーの方から休憩施設として利用されており、皆さんが安心安全に運転できるよう、最新の機器や案内員による道路情報の提供を行っています。

道の駅豊栄の北側には、国際貨物定期航路が設定されている「新潟東港」があります。「新潟東港」は本州日本海側最大のコンテナターミナルであることから、トラックの貨物輸送が活発な地域になっています。

西側にはJRA新潟競馬場があり、開催日には多くの競馬ファンや親子連れで賑わいます。

南東側はオニバスの北限の自生地である福島潟があり、国の天然記念物であるオオシクイや220種以上の野鳥が飛来するなど、四季を通じて豊かな自然を感じることができる地域でもあります。

また、道の駅豊栄の軽食では、新潟米のおにぎりをはじめジャンボ狐そば(うどん)など多数のメニューを用意しています。

売店では地元特産品の「しるきーも」の焼き芋や地域で採れた新鮮な野菜のほか、新潟の特産品や競馬グッズも販売しています。

地元の障害者福祉施設利用者が焙煎したコーヒーが飲めるコーヒーショップは風味や味へのこだわりだけではなく、障害者雇用創出の場として地域連携の役割も果たしています。

自動販売機コーナー、トイレ・授乳室は24時間利用できます。仕事やお出かけの道路情報確認や休憩の場として是非ご利用ください。

株式会社 まちづくり豊栄



7号線沿いにある、全国第1号の道の駅。情報ターミナル、トイレ、休憩所をはじめ、売店コーナー、coffee stand、軽食堂コーナーなどドライバーの休憩所として親しまれている。

道の駅 豊栄

〒950-3304 新潟県新潟市北区木崎字切尾山3644-乙
TEL.025-388-2700

営業時間/情報ターミナル道路情報施設、案内所:9:00~17:00(年中無休)

軽食堂、売店:7:00~18:00※12月~2月は7:00~17:00(年中無休)

コーヒーショップ:10:00~16:00(年中無休)



「COFFEE STAND ひといきの時間を。」 深煎りでしっかりとした苦味を感じられ、まさにドライブのお供にぴったり!喉の渇きを癒してくれます。



名物メニュー「ジャンボ狐そば」 出汁の染み込んだ大きな厚揚げが乗った蕎麦です。地元の職人による手作りの厚揚げのボリュームの大きさを感じます。

編集後記

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

この新春号では新潟市北区様からのご寄稿や新潟国道事務所様からの道の駅 豊栄のご紹介などを掲載させて頂きました。ご協力くださいました皆様に感謝申し上げます。

令和7年がスタートいたしました。今年も「信用・信頼」をモットーに新潟県の地域づくりに寄与できるよう誠心誠意取り組んでまいりますので、皆様からの温かいご支援、ご指導をお願いいたします。 編集委員 試験部 虎澤 観輝

